



## ディボーション質問表

エペソ人への手紙、ピリピ人への手紙、コロサイ人への手紙、ピレモンへの手紙は、パウロがローマで獄中生活を送っている時（使徒 28：30～31 節）に書かれた為、獄中書簡と呼ばれています。

### 5日（月）コロサイ人への手紙 1～2章

1. 1～2章の中で、著者についてどのようなことが分かりますか？  
（誰がこの手紙を書いたのでしょうか。著者の置かれていた状況。著者がこの手紙を書こうと思った理由。）
2. 1～2章の中で、この手紙の受取人についてどのようなことが分かりますか？  
（受取人は誰でしょう。受取人の置かれていた状況。受取人と著者との関係。受取人の抱えていた問題。）
3. 1章、2章それぞれに繰り返し出てきた言葉は何かあったでしょうか？ その言葉はその章全体の内容とどのような関係があるでしょうか？

### 6日（火）コロサイ人への手紙 3～4章

1. 3～4章の中で、この手紙の受取人についてどのようなことが分かりますか？  
（受取人の置かれていた状況。受取人と著者との関係。受取人の抱えていた問題。）
2. 3章、4章それぞれに繰り返し出てきた言葉は何かあったでしょうか？ その言葉はその章全体の内容とどのような関係があるでしょうか？
3. この手紙は、大きく分けると1～2章と3～4章の二つに分けることができます。それぞれの内容はどのようなものでしょうか？

### 7日（水）コロサイ人への手紙 1：1～12節

1. パウロはコロサイの信者たちの事で何を感謝しているのでしょうか？ このような事を感謝しているパウロの姿をどう思いますか（3～8節）？
2. パウロがコロサイの信者の為に祈っている事は何でしょうか？ パウロの祈りの内容で自分の祈りに取り入れる事が出来る事はないでしょうか（9～12節）？

### 8日（木）コロサイ人への手紙 1：13～23節

1. パウロはここ（13～18節）で御子について書いています。御子はどのような方だと言われているか？
2. 18節で御子が「すべてのことにおいて第一のものとなられた」と言われていますが、その理由が19節以降で述べられています。その説明をまとめてみましょう。

### 9日（金）コロサイ人への手紙 1：24～2：5節

1. パウロは自分に与えられている使命について何と書いていますか？
2. この箇所には、奥義という言葉が繰り返し出て来ます。ここで言われている奥義とは何のことでしょうか？

### 10日（土）コロサイ人への手紙 2：6～23節

1. キリストが罪に対してしてくれたことを、自分の言葉で言い換えてみましょう。そして、それがどんなに力強いことなのか黙想してみましょう。
2. 「キリストに基づく教え」と「この世の幼稚な教え」があります。自分たちの思いの中に「キリストに基づく教え」に変えるべきポイントはあるでしょうか？

**\*今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。**